

- 問1 仏教の力で国家の安定を図るため、全国に国分寺の建立を命じた天皇は誰？
- 問2 8世紀初めに編纂された、神話から推古天皇までの日本の成り立ちを記した歴史書を何という？
- 問3 聖武天皇が鎮護国家の象徴として建立を命じた、奈良にある寺院を何という？
- 問4 防人たちが詠んだ歌などが収められている、日本最古の歌集を何という？
- 問5 奈良時代末期に編纂された、現存する日本最古の歌集を何という？
- 問6 鎮護国家の思想のもとで制作された、興福寺にあるこの時代を代表する仏教彫刻を何という？
- 問7 奈良時代、唐の文化の影響を強く受けて華やかに発展した文化を何という？
- 問8 戸籍に基づいて人々に口分田を与え、死後には国に返させるという奈良時代の土地制度を何という？
- 問9 郡司が指揮下に入っていた、中央から派遣された地方長官のことを何という？
- 問10 正倉院で見られる、三角材を組み上げて湿気を防ぐ建築様式を何という？
- 問11 律令国家の統治体系として、中央から地方の国に派遣された役人を何という？
- 問12 班田収授法によって、国が戸籍に基づいて6歳以上の男女に分け与えた土地のことを何という？
- 問13 710年に唐の都である長安をモデルにして建設された、奈良の都を何という？
- 問14 奈良時代の仏教文化を象徴する建造物で、西アジアの品々も収められている有名な寺院を何という？
- 問15 奈良時代の班田収授法において、政府から農民一人ひとりに分け与えられた田を何という？
- 問16 奈良時代、仏教の影響を強く受けた国際色豊かな文化を栄えさせた天皇は誰？
- 問17 唐の長安を模して造られ、奈良時代に都が置かれた場所を何という？
- 問18 聖武天皇が鎮護国家を目的として、全国各地に建立させた官立の寺院を何という？
- 問19 唐の進んだ政治制度を取り入れ、戸籍に基づき天皇を中心とした強力な国家体制を整えるための法体系を何という？
- 問20 郡司が行政に携わった、大宝律令などに基づく国家体制を何という？
- 問21 奈良時代、唐の進んだ政治制度や文化を学ぶために、日本が中国へ派遣した使節団を何という？
- 問22 戸籍に基づいて6歳以上のすべての人々に田地を分け与え、そのかわりに税を徴収する制度を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 聖武天皇	聖武天皇は、仏教の慈悲の力によってこの苦難を乗り越えようと考え、「鎮護国家」の思想に基づき、全国に国分寺と国分尼寺を建てることを命じました。また、東大寺に巨大な大仏を造るなど、壮大な国家プロジェクトを主導しました。その信心深さとスケールの大きさは天平文化の頂点を示しています。
問2	答え 古事記	
問3	答え 東大寺	東大寺は、743年の大仏造立の詔により、聖武天皇が中心となって建立されました。この寺は全国の国分寺の総本山としての役割を担い、鎮護国家の象徴として位置づけられました。完成した大仏は、当時の人々の信仰心を集め、国家統一の精神的な拠り所となりました。
問4	答え 万葉集	万葉集は、約4500首の歌を収めた日本最古の歌集です。特徴は、天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった一般庶民の素朴で力強い感情がそのまま記されている点にあります。防人が詠んだ「防人の歌」には、国を守る誇りと家族への思慕が混ざり合い、当時の社会の現実がリアルに表現されています。
問5	答え 万葉集	万葉集は、奈良時代末期に大伴家持らによってまとめられたと言われる、日本最古の和歌集です。約4500首もの歌が収められており、天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった庶民の歌も含まれているのが大きな特徴です。当時の人々の生活感情や社会の様子を知るための貴重な歴史資料となっています。
問6	答え 阿修羅像	奈良の興福寺にある「八部衆像」の一つで、乾漆造という手法で作られています。少年のように憂いを含んだ繊細な表情が特徴で、日本だけでなく世界的に非常に高く評価されている傑作です。
問7	答え 天平文化	天平文化は、東大寺大仏の建立や唐招提寺のような壮麗な建築、精巧な仏像彫刻などが特徴です。また、『古事記』や『日本書紀』の編纂など、歴史書や文学においても大きな発展が見られました。
問8	答え 班田収授法	班田収授法は、戸籍を作成して6歳以上のすべての人々に「口分田」と呼ばれる土地を分け与える制度です。受け取った人は、その見返りとして租・庸・調などの税を納める義務を負いました。本人が死亡したときには、その土地を国に返却する仕組みです。この土地制度により、国家による民衆の把握が徹底されました。
問9	答え 国司	国司は、中央政府の意向を地方へ伝え、郡司を管理することで徴税や戸籍管理を行いました。郡司の実務を監視し、定期的に中央へ報告する義務がありました。
問10	答え 校倉造	校倉造は、断面が三角形の木材を并桁（いげた）に組んで壁を作る工法です。湿気が多いときは木材が膨らんで隙間をふさぎ、乾燥すると木材が縮んで風を通すという、自然の作用を利用した高い調湿機能を備えています。
問11	答え 国司	国司は、その土地の税の徴収や戸籍の管理、裁判など、地方行政全般を担いました。任期を定めて中央から派遣することで、地方での権力固着を防ぐ仕組みとなっていました。
問12	答え 口分田	6歳以上の男女に対し、戸籍の記載に従って一定面積の口分田を支給しました。農民はその土地で耕作する代わりに、租などの税を納める義務を負いました。土地は私有ではなく、本人が死亡した際には国に返還する決まりでした。
問13	答え 平城京	平城京は、710年に元明天皇によって奈良の地に建設された都です。唐の都である長安をモデルにして設計され、天皇を中心とした政治体制を整えるための国家の拠点となりました。計画的に道路が配置され、貴族の邸宅や立派な寺院が立ち並び、当時としては非常に高いレベルの都市機能を持っていました。
問14	答え 東大寺	東大寺は、当時の都である平城京に建立された巨大な寺院です。特に聖武天皇が発願した「東大寺の大仏」は、当時の国家の威信と仏教への信仰心の象徴でした。この寺院の宝物を収める正倉院には、シルクロードを経由して伝わった多くの貴重な宝物が現在も保管されており、当時の国際交流の様子を伝えています。
問15	答え 口分田	6歳以上の男女に与えられ、その代償として農民は租・庸・調などの税を納める義務を負いました。農民の死後は国に返還する決まりとなっていました。この土地で稲を栽培し、国の財政を支える仕組みでした。
問16	答え 聖武天皇	聖武天皇は熱心な仏教徒で、仏教による国の守り（鎮護国家）を理想としました。彼が中心となって栄えた文化は「天平文化」と呼ばれ、遣唐使を通じて唐や西域の文化を積極的に取り入れました。
問17	答え 平城京	710年に飛鳥から遷都された平城京は、当時の中国である唐の都・長安を模して作られました。道が碁盤の目状に整備され、天皇が住む宮殿を中心に官庁が並び、本格的な計画都市でした。ここを拠点として、全国の国司を指揮し、租税を徴収する律令政治が行われました。
問18	答え 国分寺	国分寺は、聖武天皇が全国60余国に命じて建てさせた寺院です。各国の国分寺と国分尼寺は、東大寺を総本山とするネットワークの一部として機能しました。これにより、地方にまで仏教の教えと国家の影響力を浸透させ、仏の力で国の安定を図りました。
問19	答え 中央集権	唐の律令制度を模範として、戸籍を作成し、国司を地方に派遣して全国を支配する体制を整えました。天皇が全権を握り、官僚を通じて地方まで法律や税を平等に行き渡らせる政治構造です。
問20	答え 律令国家	律令国家では、公地公民の原則に基づき、戸籍を作成して人々に税を課しました。中央では二官八省が行政を担い、地方では国司と郡司が行政の実務を行うシステムが構築されました。
問21	答え 遣唐使	遣唐使は、天皇の命を受けて唐の都である長安へ赴き、最新の仏教や学問、政治体制を吸収しました。阿倍仲麻呂や最澄、空海など、多くの著名な人物も遣唐使として渡航し、帰国後に日本の文化や仏教の発展に大きく貢献しました。
問22	答え 班田収授法	班田収授法は、6歳以上の男女に口分田という田地を貸し与え、その人が亡くなれば国に返させる制度です。この田地から収穫された米の一部が税として国家に納められました。